

令和4年度災害支援コーディネーター養成研修 ～ 初級編 ～ 開催要綱

近年全国各地で自然災害が多発し、その規模も広域化、甚大化しています。そのたびに多くのボランティアが被災地に駆けつけ支援活動を行うなど、災害ボランティア活動が被災者支援の中核を担っています。

これらボランティアの力を支援に活かすため、内閣府から「防災における行政のNPO・ボランティア等との連携・協働ガイドブック～三者連携を目指して～」が示され、平時から災害に備えた体制整備と災害時の効率的・効果的な支援活動の推進が求められています。

本研修は、災害時に開設される“災害ボランティアセンター”の意義と役割を理解し、災害ボランティア活動が円滑に行われるよう、社会福祉協議会、行政、NPO、JCなどの関係団体との連携・協働のもと被災者支援活動を実践できる人材を養成することを目的に開催します。

【研修日程】

日程・会場	受講対象	定員
令和4年12月14日(水) ～ 令和4年12月15日(木) ▶新潟ユニゾンプラザ 4F「大会議室」	災害時において、災害ボランティア、災害ボランティアセンター及び避難所等と連携し、被災者支援活動を行う可能性がある方。また、災害ボランティアセンターの運営又は運営支援を行う可能性がある方。 (※新潟県内在住の方に限定させていただきます。)	30名 (定員になり次第 締切ます。)

※研修プログラムは別紙のとおりです。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、新潟県で警報等が発令され自粛要請等が出された場合は開催を中止する場合があります。開催を中止する場合は新潟県社協ホームページでお知らせいたします。

(新潟県社協ホームページ: <https://www.fukushiniigata.or.jp/>)

受講料

一般: 3,000円 (2日間)、学生: 1,000円 (2日間)

※1日受講の場合でも同額です。

研修会当日、受付時に現金にてお支払いください。

お釣りのないよう、予めご準備をお願いいたします。

お申込み方法

下記のURL又はQRコードからお申込ください。

【申込期限: 令和4年11月29日(火)】

URL: <https://qr.paps.jp/oDttQ>



お問合せ先

特定非営利活動法人 いがた災害ボランティアネットワーク

TEL: 0256-35-5451 メール: info@nsvn.org

【主催】 特定非営利活動法人 いがた災害ボランティアネットワーク

【共催】 新潟県災害ボランティア調整会議・新潟県社会福祉協議会

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

【参加者の皆様へのお願い】

- (1)参加当日に検温し、37.5度以上又は平熱より1度以上高い発熱がある場合は参加をお控えください。
- (2)過去2週間以内に発熱や感冒症状があった場合は参加をお控えください。
- (3)咳エチケットを遵守するとともに、研修中はマスク着用を必須とします。
- (4)研修の前後や休憩時間中は、こまめな手洗い、手指消毒、うがいを推奨します。
- (5)会場内は常時外気を取り入れながらの空調運転を行うほか、定期的な換気を実施します。温度管理ができる服装でお越し下さい。

【事務局における運営・対応】

- (1)受講定員数を縮小し、受講者間の距離を確保します。
(座席は受講者同士一定の間隔をとります。演習(グループワーク等)も、受講者同士の距離を確保した上で実施します。)
- (2)講師、運営スタッフ等も常時マスクを着用いたします。
- (3)会場入り口及び会場内に消毒液等を設置します。また、休憩時等に定期的に会場の換気を実施します。
- (4)複数の人の手が触れる箇所や備品は、適宜消毒を実施します。
- (5)参加者の中で感染が明らかになった場合は、関係機関に必要な情報を提供する場合があります。

個人情報取り扱いについて

- (1)「参加申込・エントリーシート」に記載された個人情報は、本研修会の運営にかかる目的にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。
- (2)本研修会の参加申込受付を通じて取得した参加申込者皆さまの個人情報は、新潟県災害ボランティア調整会議事務局である新潟県社会福祉協議会が定めるプライバシーポリシー(個人情報の保護に関する方針)に基づき取り扱います。
- (3)参加申込者の同意なしに他の事業者など第三者に個人の情報は提供いたしません。
- (4)取得した個人情報データについては、適切な管理を行います。
- (5)本研修会では「参加者名簿」を作成し、研修参加者に配布いたします。また、「エントリーシート」は受講者や講師とのネットワーク作り等のため、とりまとめの上、研修参加者に配布いたします。

令和4年度災害支援コーディネーター養成研修プログラム（初級編）

【初級の対象者・目的】

対象者	社協職員、行政職員、JC 会員、NPO 職員等で、災害時において災害ボランティア、災害 VC 及び避難所等と連携し、被災者支援活動を行う可能性がある方。また、災害 VC の運営又は運営支援を行う可能性がある方。
目指すところ	被災地の現場において自分の立ち位置および活動を理解したうえで、災害ボランティアセンターのスタッフとして様々な支援や役割を理解する。 <人材像> ◆災害 VC の意義と役割を理解し、各セクションリーダーの指示のもと、確実に業務を遂行できる。 ◆派遣先において自分の役割を理解し、行動できる。 ◆それぞれの立ち位置において、災害 VC や災害支援団体との連携を視野に入れ、被災者支援活動やコーディネートを行うことができる。

★★★ 日 程 ★★★

▼ 1日目 12/14（水） 新潟ユニゾンプラザ4階 大会議室

タイムテーブル	テーマ・担当講師等
10:00～10:05	開会・オリエンテーション
10:05～11:35 (90分)	「災害支援とは」 【座学】 災害 VC や避難所といった様々な場所での支援のあり方について考えます。 ▶講師：佐賀 雅宏（倉敷市社会福祉協議会 課長主幹）
11:35～11:50 (15分)	「初級研修のねらい」 【座学】 災害 VC のスタッフとして目指す人材像を理解し、運営支援者の役割を果たすためにこの研修でどんなことを学ぶのかを共有します。 ▶講師：李 仁鉄（にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長）
11:50～12:50	昼食休憩（60分）
12:50～13:50 (60分)	「災害ボランティアセンターの基礎」 【座学】 被災者とボランティアを結びつける災害ボランティアセンターの役割と機能について考えます。 ▶講師：阿部 直実（魚沼市社会福祉協議会 係長） 倉島 真孝（阿賀野市社会福祉協議会 主査）
13:50～14:00	休憩（10分）
14:00～14:50 (50分)	「被災地支援活動における危機管理」 【座学】 被災地域での支援活動上の危機管理や安全衛生、留意点などを理解します。 ▶講師：丸山 嘉一（日本赤十字社医療センター 国内医療救護部長）
14:50～15:40 (50分)	「災害時のボランティアコーディネート」 【座学】 平時のボランティアコーディネートと比較しながら、災害時のボランティアコーディネートの特長と留意点について考えます。 ▶講師：高山 弘毅（榛東村社会福祉協議会 係長）
15:40～15:50	休憩（10分）
15:50～16:50 (50分)	「被災者と向き合った支援」 【座学】 被災者が抱える困りごとを引き出すため、相手の気持ちを理解したコミュニケーションの大切さと相手とより良いコミュニケーションの取り方について考えます。 ▶講師：五十嵐 巧（新潟県社会福祉士会 災害支援班）
16:50～17:00	質疑応答・事務局連絡

▼ 2日目 12/15 (木) 新潟ユニゾンプラザ4階 大会議室

タイムテーブル	テーマ・担当講師等
10:00～10:30 (30分)	<p>「1日目の振り返り」 1日目の内容を振り返り、共有します。 ▶講師：新保 絵梨 (くびき野 NPO サポートセンター 主任)</p> <p style="text-align: right;">【座学】</p>
10:30～12:00 (90分)	<p>「被災者のニーズをキャッチする」 被災者へのアプローチの方法やその人が抱える困りごとを引き出す方法について考えます。 ▶講師：阿部 直実 (魚沼市社会福祉協議会 係長) 井上 卓 (日本赤十字新潟県支部 救護・講習係長) 遠藤 元 (新潟市社会福祉協議会 係長) 倉島 真孝 (阿賀野市社会福祉協議会 主査) 新保 絵梨 (くびき野 NPO サポートセンター 主任) 野村 卓也 (中越防災安全推進機構 コーディネーター) 村田 明彦 (新潟県国際交流協会 課長)</p> <p style="text-align: right;">【ワーク】</p>
12:00～13:00	昼食休憩 (60分)
13:00～15:40 (160分)	<p>「被災者のニーズをキャッチする」(午前のプログラムの続き)</p> <p style="text-align: right;">【ワーク】</p>
15:40～16:00 (20分)	<p>「初級2日間の振り返り」 初級研修全体の振り返り、そのほか質疑応答を行います。 ▶講師：李 仁鉄 (にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長)</p> <p style="text-align: right;">【座学】</p>

※プログラムは一部変更になる場合がございます。